

2010年度

科目名	特別支援教育論Ⅱ			
担当教員	小田 浩伸			
配当	教福2		コード	41270
開期	後期	講時	木曜日1限	単位数 2
授業テーマ	特別支援教育の理念と基本的な考え方・展開の在り方について理解を深める。			
目的と概要	特別支援教育とは、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものであり、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。幼稚園、小中学校、特別支援学校における特別支援教育の在り方とその推進の仕方について学ぶ。			
成績評価法	毎回の授業での提出課題(15回×5点=75点)、課題レポート①(10点)、課題レポート②(15点)により総合的に評価する。			
テキスト	随時プリントを配布する。			
参考書	必要に応じて適宜紹介する。			
履修に当たっての注意・助言				
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援教育とは(障害のある幼児児童生徒に対する教育の現状と課題) 2. 障害者施策を巡る国内外の動向 — I C F、ノーマライゼーション、インクルージョン等— 3. 特別支援教育に関わる制度(関係法規、教員免許、歴史、教育委員会の役割、学級編成、教科書等等) 4. 特別支援学校における教育の概要(視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱 等) 5. 特別支援学校の役割と課題(地域における特別支援教育のセンター的機能について) 6. 小・中学校における特別支援学級及び通級による指導の現状と課題 7. 校内支援体制の在り方(校内委員会、巡回相談、関係機関との連携等) 8. LD・ADHD・高機能自閉症等の幼児児童生徒に対する指導及び支援(1) 9. LD・ADHD・高機能自閉症等の幼児児童生徒に対する指導及び支援(2) 10. 個別の指導計画の作成、及び、個別の教育支援計画の策定について(意義と活用について) 11. 特別支援教育コーディネーターの役割について 12. 障害のある児童生徒の就学支援の在り方について 13. 実践アクセス講義(ゲスト・ティーチャー) 視覚障害教育・聴覚障害教育の実践から学ぶ 14. 就学前(幼稚園・保育所)及び後期中等教育等における特別支援教育の在り方について 15. 障害者の進路・就労について —進路・就労の現状、自立支援・社会参加等の在り方と課題— 				